



ラスコム・ニュース

Lascom News

2016.11

No. 56

巻頭言

総務省「大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会」
(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任准教授 菊池 尚人)…………… 2

報告

地域衛星通信ネットワークの運営組織について(総務部情報企画課)…………… 4
平成 27 年度事業報告及び決算について(総務部総務課)…………… 7
熊本地震に伴う LASCOM 網の状況について(技術部ネットワーク推進課)…………… 8

レポート

セキュリティ監査(診断)について
ー平成 24 年度から 28 年度までの診断結果推移及び脆弱性の内容まとめー
(技術部情報セキュリティ対策室)…………… 9

一口メモ

太陽雑音妨害について(技術部)…………… 11

お知らせ

地域衛星通信ネットワーク担当課長会専用サイトを開設しました
(総務部情報企画課)…………… 13
地球局の定期検査について(技術部免許管理課)…………… 14



全国知事会議 in 福岡
(平成28年7月28、29日福岡県福岡市)



Lascom 一般財団法人 自治体衛星通信機構

巻頭言

総務省 「大規模災害時の非常用通信手段の 在り方に関する研究会」

慶應義塾大学大学院

メディアデザイン研究科特任准教授 菊池 尚人



1. はじめに

総務省「大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会」が6月に報告書をまとめた。医療分野では日本赤十字社、DMAT、医師会、関連学会から多数参加し、情報通信分野では電気通信事業者、業界団体、LASCOM、学識経験者などが参加した。ICTによる災害医療・救護活動の強化に向けて、半年をかけて、集中的な討議がなされた。災害医療救護拠点における非常用通信手段の確保、関連する人的能力の強化、地域における情報通信ネットワークのメッシュ化・多重化などが提言された。

2. 背景

この研究会が始まる2年前の2013年から、東北大学病院で研究会が開催されてきた。厚生労働省の地域医療再生基金を活用した宮城県の事業であり、総務省研究会に参加した何人かの構成員は、東北大学病院の研究会のメンバーでもあった。東日本大震災の教訓の一つが大規模災害時の避難所アセスメントであり、東北大学病院での研究会ではこれをハード、ソフト、法制度から3年をかけて検討した。最終的には避難所アセスメント用のソフトウェアを開発し、先の熊本地震で運用した。個人情報やプライバシーなどの法制度面の研究も重ねた。いずれも一定の成果を収めることができたが、唯一進んでいなかったのがハード（＝インフラ）の検討だった。この宿題の出口を、総務省の研究会で見つけることができた。

3. 現状

総務省研究会では、特に南海トラフ地震を想定して、非常用通信手段の確保の在り方が検討された。南海トラフ地震が発生すると四国等の想定被害地では、ほとんど全ての固定電話が途絶する。携帯電話も非常用電源が停止する発災一日後に、ほとんどの基地局が停波する。地上系が機能しない、このような状況では必然的に衛星通信に頼ることになる。だが、医療機関では衛星携帯電話はある程度普及しているものの、高速での衛星データ通信環境はほとんど整備されていない。



4. 特殊性

自衛隊、消防、警察、行政機関など、災害時に対応する主体は大規模組織であり、無線では専用の周波数帯が割り当てられ、自営網を構築している。それらと比較して、医療分野は関係者が多岐にわたり、規模もまちまちで、独自に包括的な自営網を構築できる環境にない。他方、被災者情報の送受信や前述した避難所アセスメントでは音声のみの通信では足りず、データや画像のやりとりが必要になっている。遅滞なくこれを伝送するには、専用線による衛星回線利用が確実だが、個々の医療機関が専用線を利用することはコスト面から非現実的だ。そこで、総務省研究会では医療機関による共同利用型の衛星データサービスの実現を最後に提言している。

5. 方向性

現時点では大規模災害時においても衛星携帯通信は輻輳しないと、総務省研究会では想定する。同時に、今後は一定の条件の下で輻輳が生じるとのシミュレーションも示された。振り返ると、携帯電話の輻輳は阪神・淡路大地震では生じなかったが、東日本大震災では生じた。サービスの普及とともに、当該サービスのトラフィックは増大するし、画像伝送の一般化はそれを加速する。同様に、大規模災害時に衛星の公衆網を利用することには将来的なリスクが伴う。研究会で提言された、共同利用型の衛星データサービスを災害医療救護拠点で利用できれば、費用対効果から合理的だ。総務省研究会において、私が大井田二郎構成員と実施した高知でのアンケート調査では、通信網の脆弱性とそれへの危機意識の高さが明らかになった。あわせて、非常用通信手段の確保に関する医療現場からの強いニーズも明らかになった。

6. これから

研究会では、送受信データ量の縮小等によるシステムの効率化、電気通信事業者の更なるインフラの強化、先進的な研究開発の成果展開等も必要な取組として提言された。それらの提言にまして、医療機関に特化した共同利用型の衛星データサービスは提言の目玉であろう。そして、このサービスこそ、LASCOMの設立主体である都道府県等が中心となり環境を整えて、提供すべきものだと考える。

私はこれまで高知、栃木における災害時要援護者のデータベース整備や、岩手における東日本大震災時の避難所データベース承継や、福島における震災記録の保存に取り組んできた。それらを通じ、大規模災害を想定して備えることの大切さを痛感している。今回の研究会の提言を単なる提言にとどめず、官民一体で実現に近づけることが大切だと強く思う。

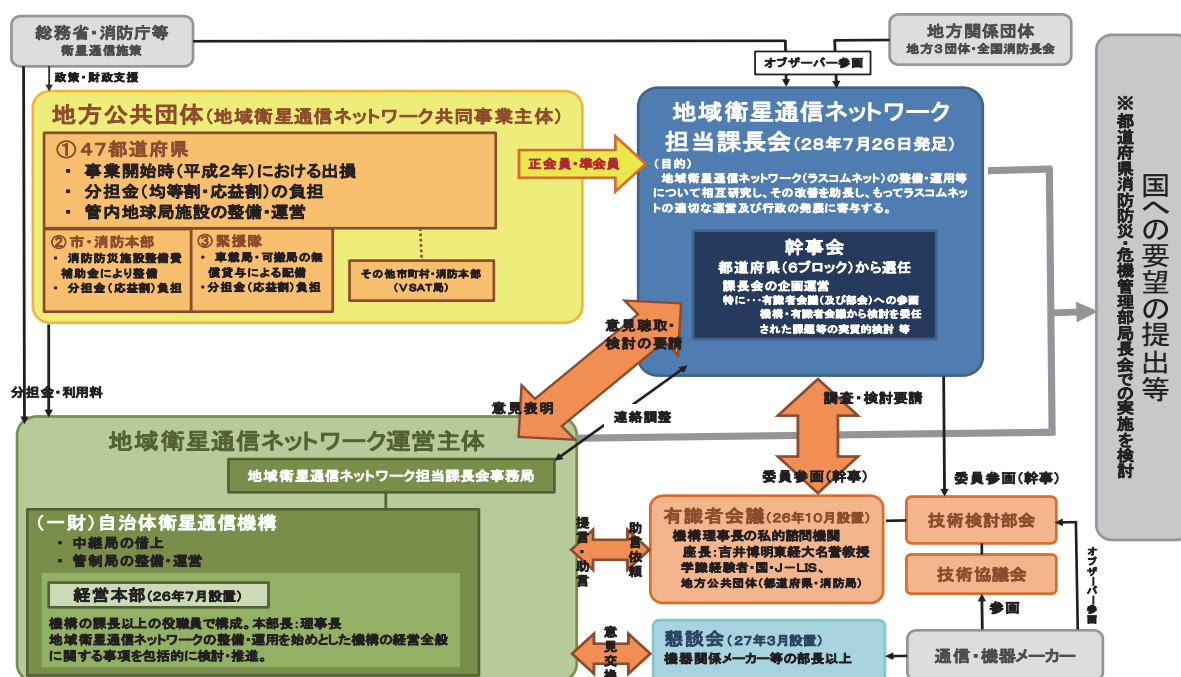
地域衛星通信ネットワークの運営組織について (総務部情報企画課)

去る7月26日に開催した「平成28年度地域衛星通信ネットワーク担当課長会議」(以下「担当課長会議」)において、「地域衛星通信ネットワーク担当課長会」(以下「課長会」)の発足が承認され、引き続き、同日に選任された幹事により、「第1回幹事会」を開催、当面の運営についての協議を行うなど、課長会の活動が正式にスタートしました。今回の発足に当たり、これまで、「地域衛星通信ネットワークの運営組織(相関図)」を用いながら、必要性等について説明を行ってきましたが、改めて、相関図に即しながら、各運営組織等について説明します。

1. 地方公共団体(地域衛星通信ネットワーク共同事業主体)

今回、課長会のメンバーとして位置付けたのは、以下に示す地方公共団体で、①を「正会員」、②・③を「準会員」としています。

- ①都道府県…事業開始時における出損金、設備の整備・運用に係る分担金(均等割・応益割)を負担。
全都道府県が該当。
- ②市・消防本部…地球局(VSAT局)を「消防防災施設整備費補助金」により整備を行い、当該設備運用に係る分担金(応益割)を負担している団体。
- ③緊急消防援助隊…国の補正予算による車載局・可搬局の無償貸与を受け、当該設備運用に係る分担金(応益割)を負担している団体(当該緊援隊が所属する消防本部)。



地域衛星通信ネットワークの運営組織(相関図)



2. 地域衛星通信ネットワーク担当課長会

今回、発足された課長会は、1に掲げる地方公共団体（正会員・準会員）が参加し、会の運営に当たります。その中において中心的な役割を担うのが幹事会です。

課長会組織の運営主体のあり方については、他団体における協議会組織の枠組みを参考に検討を行いました。その結果、ラスコムネットについては、事業開始後20数年を経過し、その間、利用団体間で、ラスコムネットに対する認識・考え方・取組みの方向性等についての乖離が大きくなっていることから、当面は、後述の幹事を中心に運営を行うこととし、情報共有の徹底を通じた共通認識の醸成に努めることといたしました。

幹事は、47都道府県を6ブロックに分割した各ブロックの正会員から選任され、3の有識者会議への委員としての参画や、機構・有識者会議が議論・整理を行い、課長会に検討を委任した課題等について、会員の意見等を集約しながら、実質的な検討を行います。

なお、課長会会則には、活動の一つに、国等に対する要望活動の実施がありますが、「都道府県消防防災・危機管理部局長会」で実施している要望活動の範囲内での実施を検討しているところです。これは、会員の負担感の軽減を図る趣旨から、担当部局や取扱いの行政分野がほぼ重複している同会との連携を模索しているものです。

3. 有識者会議・懇談会

「一般財団法人自治体衛星通信機構有識者会議」（文中「有識者会議」）は、機構の業務全般に関する事項について、幅広い視点から意見交換を行い、今後の機構経営に資するため、平成26年10月に設置された理事長の私的諮問機関です。有識者会議には、学識経験者のほか、国・都道府県・消防本部等から委員として参加いただいておりますが、2に紹介したとおり、都道府県からは、課長会幹事が委員として参画し、日頃ラスコムネットを運用する所管部局の当事者としての立場で意見をいただいております。また、有識者会議には技術検討部会が設置されており、幹事府県の実務担当者が委員として参画しています。

「一般財団法人自治体衛星通信機構懇談会」（平成27年3月設置）は、通信事業者・機器メーカーとの間で、年1回程度、ラスコムネット及び機構の課題・取組み等について意見交換を実施しています。また、通信事業者・機器メーカーは、技術的な課題等について、実務専門的な立場から検討するため技術検討部会の下部機関である技術協議会に参画するほか、技術検討部会にオブザーバーとして参加しています。

4. 国・地方関係団体

国（総務省・消防庁）は、衛星通信や同技術を活用した災害対策に係る政策の推進、施設整備等に係る財政支援のみならず、都道府県と同様、分担金（均等割）を負担し、利用者としてラスコムネットに関与しています。また、ラスコムネット自体が、都道府県防災行政無線（衛星系）に位置付けられ、国の消防防災行政上、極めて重要なインフラであることから、今回の課長会の発足に当たり、総務省（自治行政局地域情報政策室、情報通信国際戦略局宇宙通信政策課）・消防庁（国民保護・防災部防災情報室）から、オブザーバーとして参画いただいております。また、地方3団体（全国知事会、全国市長会、全国町村会）は、事業開始時における出損団体であることや、ラスコムネットが地方公共団体共同事業であること、全国消防長会は、ラスコムネットが消防防災分野において活用され、今後の検討の方向性においても重要な役割を担うことが予想されることから、国と同様に、オブザーバーとして参画いただいております。

5. 地域衛星通信ネットワーク運営主体

一般財団法人自治体衛星通信機構は、都道府県等の出損により、平成2年2月に財団法人として設立され、以降、地球局間の回線の割り付けや地球局の監視等のネットワークの管理運営業務を行ってきました。平成26年4月の一般財団法人への移行を契機に、ラスコムネットの整備・運用を始めとした機構の経営全般に関する事項を包括的に検討するため、同年7月、機構内に理事長を本部長とする「経営本部」を設置、これまでに50回会議を開催し、課題の解決に向けた検討を行っていますが、課長会の発足を踏まえ、諸課題の検討にあたっては、課長会の判断を仰ぐ機会も増えるものと考えています。

機構では、地方公共団体の共同事業であるラスコムネットの管理運営法人として、課長会のご指導と緊密な連携のもと、適切な運営を行ってまいります。

6. 今後の方向性について ～地域衛星通信ネットワークのあり方に係る調査の実施～

7月25日に開催された「第7回有識者会議」において、中長期的な検討事項として位置付けているラスコムネットのサービス提供及び提供形態のあり方等についての検討の進め方についての意見交換が行われ、今後、スピード感を持って検討を行うこととされました。また、総務省消防庁から、ラスコムネットを念頭に置いた衛星通信のあり方について、本年度末を目途に方向性を取りまとめる旨、有識者会議及び担当課長会議において示されたところです。

このことを踏まえ、同庁との連携のもと、新システムの開発を念頭に、ラスコムネットの現状・課題・あるべき方向性についての調査・検討を行うこととし、本年末を目途に報告書として取りまとめを行う予定です。

詳細については、次号以降において報告しますが、今回の調査結果を踏まえ、総務省消防庁において、災害時における衛星系通信のあり方等について検討を行い、今年度末を目途に方向性を取りまとめることとされております。また、機構においても、有識者会議及び担当課長会との緊密な連携のもと、中長期的課題の解決に向けた検討を行ってまいります。

平成27年度事業報告及び決算について（総務部総務課）

本年6月13日（月）及び6月29日（水）に開催された理事会及び評議員会において、平成27年度の事業報告及び決算が承認されましたので、その主な内容をお知らせいたします。

なお、詳細な事業報告及び財務諸表は当機構ウェブサイトに掲載しております。

1. 事業報告

- ・平成27年度末現在、地域衛星通信ネットワークの第二世代システムは36都府県で構築。地球局数は3,199で、47都道府県、市町村の約80%及び消防本部の約60%をカバー
- ・山口及び美唄管制局の設備更新事業が終了し、12月から新設備による運用を開始
- ・第二世代システムを構築した33都府県及び7消防等に対して、セキュリティ診断システムによる定期診断を実施
- ・地球局の免許が満了となった約140局の地球局及び4件の包括免許局に係る再免許申請を実施
- ・4県で第二世代システムを導入。また、2県で71局の機能スリム化VSATを導入
- ・「担当者連絡会議」に替わる「担当課長会議」を5月に開催
- ・地域衛星通信ネットワークによる新たなサービスの展開や既存サービスの見直し等について、「有識者会議」において、短期的及び中・長期的な視点から検討を行うべき課題を抽出
- ・地方公共団体による衛星系システムの整備・運用に係る国としての指針の明確化や、市町村局を始めとした地球局の整備に対する財政支援の充実を主旨とした要望活動を、関係省庁等に対し7月に実施

2. 決算

- ・管制局設備更新による旧設備の廃棄や財産運用益及び分担金収入の減少により、正味財産は減少

①貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当年度	前年度	増減
I 資産合計	23,839	25,726	▲1,888
1. 流動資産	213	1,568	▲1,355
2. 固定資産	23,625	24,158	▲533
基本財産	18,900	18,900	0
特定資産	974	2,254	▲1,280
その他固定資産	3,751	3,004	747
II 負債合計	130	1,462	▲1,332
III 正味財産合計	23,709	24,265	▲556

②正味財産増減計算書

（単位：百万円）

科目	当年度	前年度	増減
I 経常収益	1,664	1,684	▲19
基本財産運用益	212	225	▲13
受取分担金	1,196	1,203	▲6
その他	256	256	0
II 経常費用	2,015	1,979	36
事業費	1,877	1,823	54
減価償却費	316	265	51
雑役務費	78	14	64
中継器借上費	1,024	1,024	0
その他	459	520	▲61
管理費	138	156	▲18
III 評価損益等	▲9	▲8	▲1
IV 経常外収益	43	0	43
V 経常外費用	239	0	239
当期一般正味財産増減額	▲556	▲303	▲253
当期指定正味財産増減額	0	0	0
正味財産期末残高	23,709	24,265	▲556

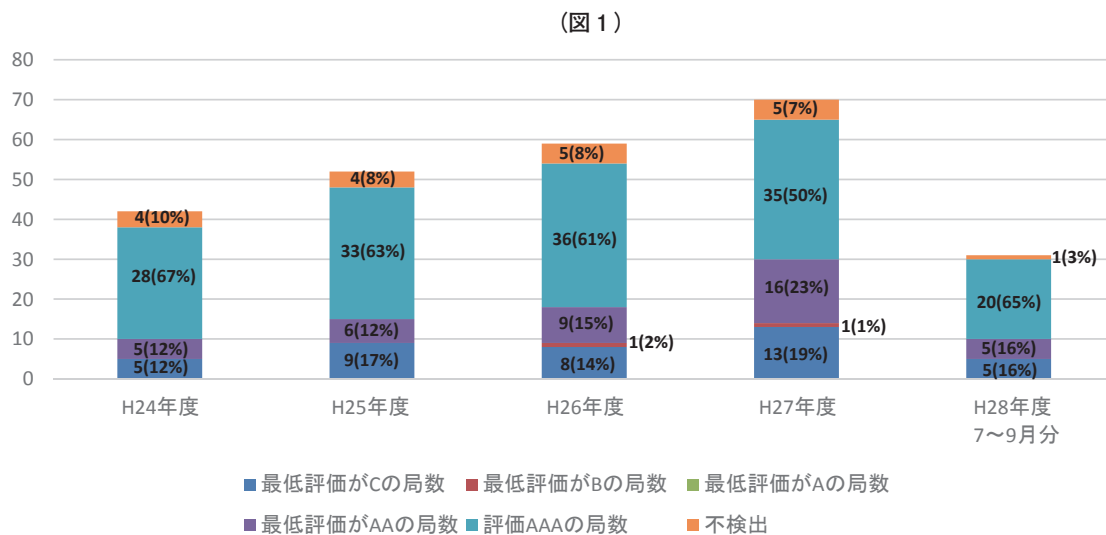
レポート

セキュリティ監査（診断）について

ー平成24年度から28年度までの診断結果推移及び脆弱性の内容まとめー
（技術部情報セキュリティ対策室）

1. 平成24年度から28年度までの診断局数及び評価の推移

平成24年度から今年度まで実施した診断結果（評価）の推移は以下となっています。



注) (1)セキュリティホールリスクレベル

本診断では検出された問題点を3段階(High、Medium、Low)のリスクレベルに分類しています。
Highレベルの基準は、緊急性が高く早急に対策が必要なもの。

(2)診断結果に対する評価

診断結果をもとに総合評価と端末ごと評価を行います。端末ごと評価の算出方法は各端末で検出された脆弱性のリスクレベルをもとに100点満点から減点法で評価しています。得点と評価の対応は以下のとおり。なお、不検出とはIPアドレスが検出されなかったため未評価となったものです。

AAA：100～96点 AA：95～86点 A：85～71点 B：70～51点 C：50～0点

(3)図の（ ）は年度毎全局に対する各評価局数の比率を示す

2. 診断結果 評価Cの問題点及び脆弱性（Highリスク）検知数まとめ

①項（FTPサービスにおけるアカウント情報の取得）、②～⑤（修正プログラムの不適用）項の脆弱性が多く検知されています、対策を施す際のご参考にご覧ください。LASCOMネットワークは閉域網ですが、一度ウイルス等に侵入されるとネットワーク内全てに影響が及ぶ可能性がありますので、対策のご検討をお願い致します。

(表1)
年度ごとの脆弱性 (Highリスク) 検知数

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 7～9月分
①	FTPサービスにおけるアカウント情報が取得できた	0	7 (K県庁局、M県庁局、N県庁局など)	7 (K県庁局、M県庁局、SA県庁局、N県庁局など)	8 (M県庁局、SA県庁局など)	5 (TO県庁局、SA県庁局、N県庁局など)
②	修正プログラムが適用されていない (WindowsOSのサーバーサービスにおける任意のコードを実行される脆弱性)	4 (K県庁局、H県庁局、SA県庁局、N県庁局)	2 (K県庁局、N県庁局)	3 (K県庁局、SA県庁局、N県庁局)	3 (K県庁局、SA県庁局、N県庁局)	1 (N県庁局)
③	修正プログラムが適用されていない (WindowsOSのSMBサービスにおける任意のコードを実行される脆弱性)	4 (K県庁局、H県庁局、SA県庁局、N県庁局)	3 (K県庁局、N県庁局、SA県庁局)	3 (K県庁局、SA県庁局、N県庁局)	3 (K県庁局、SA県庁局、N県庁局)	1 (N県庁局)
④	修正プログラムが適用されていない (WindowsOSのリモートデスクトッププロトコルにリモートでコードが実行される脆弱性)	1 (N県庁局)	1 (N県庁局)	1 (N県庁局)	3 (F県庁局、N県庁局など)	1 (N県庁局)
⑤	修正プログラムが適用されていない (Windows HTTP.sysにリモートから任意のコードを実行される脆弱性)	0	0	0	2 (F県庁局など)	0
⑥	セキュリティサポートの終了したOS (WindowsXP) の利用	1 (T県 VSAT)	0	2 (K県庁局、N県庁局)	2 (K県庁局、N県庁局)	1 (N県庁局)
⑦	SNMPサービスで読み込み/書き込み可能なコミュニティ名が推測可能	1 (H県庁局)	0	0	4 (H県 VSAT など)	1 (TO県 VSAT)
⑧	セキュリティサポートの終了したOS (Windows 2000) の利用	1 (T県 VSAT)	0	1 (T県 VSAT)	0	0
⑨	セキュリティサポートの終了したソフトウェア (Microsoft Office2003) の利用	0	0	1 (T県 VSAT)	0	0
⑩	サポート期限が切れたソフトウェア (Windows7) の利用	0	1 (Y県庁局)	0	0	0
⑪	NetBIOSサービスにおいてユーザ名/パスワードを推測可能	1 (T県 VSAT)	0	1 (T県 VSAT)	0	0
⑫	パスワードなしでADMIN \$ 共有フォルダにアクセスできる	1 (T県 VSAT)	0	1 (T県 VSAT)	0	0
⑬	SSHサービスにおける総当たり攻撃通じてアカウント/パスワード情報の取得が可能	0	0	0	3 (K市消防学校局など)	0
⑭	FTPサービスにおいて書き込み可能なディレクトリが存在する	0	0	0	1 (K市消防学校局)	0
⑮	製品サポートの提供が終了したPHP5.3シリーズが検出された	0	0	1 (S県 VSAT)	0	0
⑯	Mozilla Firefoxの脆弱性が複数存在する古いバージョンが検出	1 (T県 VSAT)	0	0	0	0
⑰	Adobe Readerの脆弱性が複数存在する古いバージョンが検出	1 (T県 VSAT)	0	0	0	0

3. 各自治体の改善対策実施状況例

(表2)

	H24年度→H25年度	H25年度→H26年度	H26年度→H27年度	H27年度→H28年度
Y県庁局	AAからCに低下	CからAAに改善	AA維持	
F県庁局	—	—	AAからCに低下	CからAAAに改善
K市消防局(※)	—	—	—	AAからAAAに改善
K市消防学校局(※)	—	—	—	CからAAAに改善
H県庁局	CからAAに改善	AA維持	AA維持	

なお、※については脆弱性改善のため、当機構とも詳細打合せを行い対策について検討を行ない改善を実施いただいた局です。



一口メモ

太陽雑音妨害について（技術部）

毎年春と秋に、「太陽雑音受信障害予報」のお知らせを各都道府県へお送りしています。また機構のホームページにも掲載しています。太陽が発する強い雑音を受信して衛星通信回線の品質が劣化する現象が起ることを事前にお知らせし、必要な対策を講じて頂くためです。

太陽雑音妨害は、地球局から見て衛星の背後を太陽が通過して、衛星からの電波とともに太陽が発する雑音を受信するために回線の品質が劣化する現象です。因みに通信衛星のアンテナは常に地球を向いていて太陽と正対することはないので、地球局から衛星へ向けての通信路では起こりません。

この現象は地球局が何処にあっても必ず発生しますが、日時や妨害の程度は正確に予報出来ます。地球局の緯度と、地球局と衛星との経度差により日時が決まりますが、北半球では春分の日の前と秋分の日の後に起こります。SuperBird-B2では、2月末から3月上旬の間と、9月末から10月中旬の間の連続する数日間になります。

春分及び秋分の頃には太陽の高度（赤緯）が毎日0.38度ほど変化します。一方、太陽の視直径は0.52度ですから、太陽が衛星の後ろを通過する日が春秋それぞれに少なくとも1日はあることがわかります。如何に地球局のアンテナビームを細くしても、この現象を避けることは出来ません。

太陽雑音は、雑音電力を温度に換算すると、地域衛星通信ネットワークが使用するKuバンド（12GHz）では約12,000K【ケルビン】ですが、Cバンド（4GHz）では100,000Kもあります。このためCバンドを使う衛星通信では非常に大きな妨害となります。またKaバンド（20GHz）では9,000Kとなっています。ところで太陽の表面（光球）の温度は、よく知られているように約5,800Kです。電波で見た太陽はそれよりもはるかに熱いということになります。またこれらの周波数で見た太陽は、光で見るとよりやや大きくなっています。このことから、太陽雑音は太陽の表面ではなくその上の大気から出ている、太陽表面からの放射熱ではなく別のメカニズムで温められていると考えられますが、正確なことは分かっていないようです。

太陽雑音妨害の程度は、アンテナビームと太陽が重なった部分を計算することでアンテナに入る雑音量を求めることができ、これより継続時間や妨害が発生する日数がわかります。最大の妨害はアンテナビームと太陽の中心が重なった時で、受信機に入る雑音が通常よりも可搬局では3～5 dB程度、VSATで8 dB程度、県庁局クラスでは10dB以上も多くなります。数式を使わずに説明することは難しいのですが、例えば広角レンズで写した花火は夜空の一点ですが、望遠レンズでは画面全体に明るく写るように、アンテナ径が大きくなるほど多くの雑音を受信するようになります。さらにアンテナが大きくなり太陽よりもアンテナビームが狭くなるとアンテナに入る雑音は一定となります。

このように太陽雑音により衛星回線の品質は明らかに劣化しますが、地上の無線通信や別の衛星業務からの干渉、トランスポンダの内部で発生する混変調など衛星回線の品質を落とす要因は多々あります。それらと比べると太陽雑音は特段大きなものではないことから、VSATでは影響は無いとごく軽微であり、大型の局では元々回線の品質が十分に高いので影響は無いと考えられます。なお可搬局では回線マージン



を減らして伝送速度を高くする動作を認めていますが、その際に太陽雑音妨害が起こると通信が途切れる可能性があります。

以上のように、太陽雑音の影響は通信に対しては軽微です。しかしアンテナの追尾系や送信電力制御系に対する悪影響も考えられるので、事前の回避策を講じて頂く為にお知らせしています。

お知らせ

地域衛星通信ネットワーク担当課長会専用サイトを開設しました（総務部情報企画課）

「地域衛星通信ネットワーク担当課長会」の発足を踏まえ、課長会における活動を通じた共通認識醸成の一助とするため、8月23日に、機構ホームページ内に、会員・オブザーバー限定で閲覧いただく「専用サイト」を開設し、同日、課長会に登録いただいた地方公共団体に、閲覧に必要なIDとパスワードを郵便にて送付いたしましたのでご利用ください。

当サイトでは、幹事会における諸課題の検討状況や連絡事項など、課長会の活動はもとより、ラスコムネットの整備・運用上必要なガイドライン（基本設計書・運用手順書等）や、日常的な運用に関する各種情報、衛星系通信を中心とした国等の施策等についても積極的にアップしてまいります。また、会員サイトの開設に伴い、有識者会議（技術検討部会を含む）における配布資料を本サイトに移行しました（機構ホームページでは、次第のみの閲覧が可能です）。

当面は、限られたコンテンツの掲載となりますが、課長会の活動に併せ、逐次、コンテンツの充実を図ってまいります。将来的には、情報共有のみならず、会員相互の情報交流サイトとして運営してまいりたいと考えておりますので、今後アップを希望する資料や、サイトの運営についての提案など、積極的なご意見をお待ちしております。

地球局の定期検査について（技術部免許管理課）

「地域衛星通信ネットワーク」で運用される地球局（VSATを除く）は、5年以内に1回、無線局定期検査を受けることが電波法で義務付けられています。

平成29年度に定期検査の指定が見込まれる契約者様は、次の26局です。

登録点検制度を利用して頂きますので、その委託経費の計上をお願いしております。

北海道（4局）	岩手県（1局）	総務消防庁（4局）	神奈川県（1局）	千葉県（1局）	静岡県（1局）
三重県（1局）	堺市消防（1局）	和歌山県（1局）	広島県（1局）	岡山県（1局）	鳥取県（1局）
高知県（2局）	福岡県（1局）	長崎県（1局）	北九州消防（1局）	宮崎県（1局）	

今後の第2世代化計画、その他により、変更となる場合があります。（H28.9月末時点）。

なお、登録点検は、検査指定月の約2か月前に実施して下さい。

登録点検の実施から無線局検査の終了（検査合格）までの一般的なスケジュールは、次の通りです。

実施例：検査指定月が「12月」の場合；

登録点検 ↓		検査指定月 ↓		
～10月末		11月上旬～ 11月中 ～11月末		
入札・契約 ↓	結果素案を Mailで送付	内容確認作業： (機構と点検事業者 との間で相互に確認)	結果通知書 (正本の書面) を総通局提出	検査実施 (書面審査) ↓
登録点検実施 ↓ 点検事業者が 結果素案を作成	点検事業者 ↓ 機構 免許管理課	完了後、点検事業者は 点検結果通知書に 社印 ↓ 正本(書面)を郵送 ↓ 機構	機構 ↓ 総通局	検査結果 通知書 (合格) ! ↓ 機構 ↓ 自治体様
上記作業をするのは；				
自治体様等及び登録点検事業者		登録点検事業者及び機構		総通局、機構

Lascom
News 2016.11, No.56

一般財団法人自治体衛星通信機構

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 虎ノ門ワイコービル7F

TEL 03-3434-7348 **FAX** 03-3434-7349 **URL** <http://www.lascom.or.jp>

衛星TEL 048-300-100 **衛星FAX** 048-300-101